

令和6年度 御影小中一貫教育推進委員会 活動進捗報告

R6/10/11 御影地区事務局

1 本年度の重点

小学校と中学校の教育活動を、義務教育9年間の連続性の中でとらえ直し、計画的・系統的な指導を推進するための準備を行う。

2 めざす15歳の子ども像

- ①地域（自然・郷土・人）に愛着や誇りを持つ子ども
- ②やさしさ、思いやりと倫理観を持ち響き合って生きる子ども
- ③社会の創り手となる「生きる力」を身に付けた子ども

3 推進委員会組織

委員長 中学校長 乙戸 貴宏（生活部付）
 副委員長 小学校長 佐藤 貴光（学習部付）
 事務局長 中学校教頭 堀口 初枝（研修部付）
 事務局次長 小学校教頭 三木 俊治（研修部付）
 委員 小学校教諭 保刈 敬貴、中学校教諭 梅原 美保

学習部	生活部	研修部
部長（小：伊藤 綾美） 副部長（中：高橋 謙一） 部員 <小学校> 霜野 勝彦 久萬 悠子 <中学校> 梅原 美保 筒井 美有 小校長 佐藤 貴光（部付）	部長（中：谷 薫） 副部長（小：久朗津 祥江） 部員 <小学校> 大久津 誠二 山川 奈緒美 <中学校> 泉野 元気 中村 暁子 中村 直仁 澤田 真菜 武藤 織恵 中校長 乙戸 貴宏（部付）	部長（小：保刈 敬貴） 副部長（中：高原 悠輔） 部員 <小学校> 西川 里子 亀山 真由美 <中学校> 吉田 香代子 小教頭 三木 俊治（部付） 中教頭 堀口 初枝（部付）

【学習部】

[令和5年度活動内容]

(1) 小中連携事業の継続と効果的な連携の模索

① 9年間連続した教育課程編成の検討・作成

- ・教育課程：9教科とも完成したが、次年度の小学校の教科書変更に伴い、再検討が必要

② 出前授業の実施（2・3学期）

- ・12/15（金）：音楽科（御影中 梅原教諭）[会場：御影小学校]
- ・2/6（火）：数学（御影中 泉野教諭）[会場：御影中学校]
- ＊次年度に向けて、アイスホッケーの出前授業検討

(2) 小中の「十勝清水学」の交流

① 系統表（R4作成）の内容整理

- ・「総合的な学習」における「十勝清水学」の取り組み内容や方法について、スムーズな接続に向けて小中双方で精査し、学校間の隔たりが無くなるよう、見やすい資料を作成し、共通理解を図る。

(3) 清水町英語暗唱大会・清水町意見発表大会

- ・令和5年度は清水地区が担当 令和6年度は御影地区が運営する。

[令和6年度活動内容 進捗]

(1) 教育課程変更点についての交流

- ・小学校は今年度教科書が変わったので、新しく作成し差し替えている。
- ＊中学校来年度

(2) 「北海道十勝清水学」の変更点についての交流

- ・小・中ともに変更点等を確認し、一覧を更新。
- ・「町・作文朗読意見発表大会」について小学校では記載があったが、中学校では記載されていないため追記。「英語の暗唱大会」については、記載するかどうか検討。

(3) 出前授業について実施可能な日時の調整と教科の検討

- ・1回目：12月上旬で検討 ＊中学校案：保健体育（アイスホッケー）
- ・2回目：入学説明会の日程に併せて実施 ＊教科は中学校で調整

(4) ICTの活用についての交流

- ・小学6年生では、ドキュメントで修学旅行のしおりを作ったり、スライドでまとめを作ったりと、文書を作成する取り組みも行っている。
- ⇒中学校では、文書を作成することまでできれば、授業でも困らないということであった。また、授業中のタブレットの使い方のルールについては、引き続き指導していく。

月	取組の予定	月	取組の予定
4		10	
5	8日（御影中）第1回御影地区合同会議	11	
6		12	18日（御影中）第3回御影地区合同会議
7		1	
8		2	未定（御影小）第4回御影地区合同会議
9	4日（御影小）第2回御影地区合同会議	3	

【生活部】

[令和5年度活動内容]

(1) 生活のきまり

- ・長期休業中（夏季）生活のきまり検討・作成
発達段階に応じたきまり（目標）の設定について協議し作成

(2) 生徒指導に係わる情報交流

- ・児童会・生徒会事業交流
小中学校の円滑な引き継ぎ
生徒会と児童会の交流を推進
→生徒会で実施しているボランティア活動を児童会と合同で実施（検討）時期を合わせて、挨拶運動等の実施も可能かを検討

(3) 清水町子ども大会作品展示会

[令和6年度活動内容 進捗]

(1) 生活のきまりのさらなる見直し

- ・「冬休みのきまり」について今年度改めて内容の再検討。
12月の授業参観日に保護者向けに発行する予定。
- ・次回12月の合同会議では「夏休みのきまり」についても内容の再検討を行い、次年度の夏休みには再発行できるように準備を進める。

(2) 児童会と生徒会の交流

○5月に実施した小中合同による「地域清掃ボランティア」について

- ・地域清掃ボランティア活動を通して、生徒会・児童会の交流ができたのは非常に良かった。
- ・小学生にとっては、中学2・3年生は非常に大人に見えたようで、2・3年生の指示には迅速に従っていた。このような場で、中学生の言動に触れておくことは進学後の精神的なギャップを少なからず解消することができるのではないかと感じた。
- ・交流の時間が短時間であったことから、さらに交流を深められるような計画立案を進める。
- ・次年度の第1回合同会議で、中学校側から児童会・生徒会交流事業の提案を行い、より良い活動・交流になるよう進めたい。

(3) 清水町子ども大会作品展示会への協力

- ・11月19日の作品搬入、11月25日作品搬出について小中それぞれで対応について調整を図る。
- ・小学校窓口：久朗津教諭、中学校窓口：中村暁子教諭
- ・今後の改善点として

町子ども大会作品展示会については小中それぞれの教務が担当となっている。そうした意味からも、小中の生徒指導部担当で構成している生活部の事業とするより学習部の事業とするべきである。

〔月別活動計画〕

月	取組の予定	月	取組の予定
4		10	
5	8日（御影中）第1回御影地区合同会議 合同地域清掃ボランティアの実施	11	
6		12	18日（御影中）第3回御影地区合同会議 児童生徒の実態交流 「冬休み生活のきまり」の発行
7		1	
8		2	未定（御影小）第4回御影地区合同会議
9	4日（御影小）第2回御影地区合同会議 児童生徒の実態交流 「冬休み生活のきまり」の検討	3	



【学習部】



【生活部】



【研修部】

令和6年度 御影小中一貫生活部 地域清掃ボランティア

2024.05.08

①日程

令和6年5月17日(金) 4校時 (㊦11:30~12:15 ㊧11:40~12:30)

※雨天の際は5月20日(月)4校時に延期予定

②目的

- ・通学地域のごみ拾いを通して、ボランティアの気持ちを育てる。
- ・小中一貫を見据えて、児童会と生徒会の交流を図る。

③参加児童生徒

- ・御影小38名(5~6年生)+教員3名
 - ・御影中16名(1~3年生)+教員2名
- ※参加生徒に児童会役員生徒会役員を含める。

④活動内容

- ・地域清掃(ごみ拾い)
- ・合流地点での交流(写真撮影、各会長から一言)

⑤地図



【研修部】

[令和5年度活動内容]

(1) 授業実践交流（12月6日、8日、12日）

① 授業実践交流(参観日)後の事後研の内容を検討

→授業参観の視点に沿った意見交流

② 校内授業研等の参観

小学校 研究教科「算数」

研究主題「豊かに表現し、ともに学び合い、自分の考えを深める子どもの育成」

～ 見方・考え方を通して算数のきまりに出会う授業を目指して ～

中学校

研究主題「『学びあい』を通して、自ら学び、判断し、表現する生徒の育成」

～主体的・対話的で深い学びを通して～（1/3）

(2) 学習規律

・各校教室に掲示

・令和5年12月末 評価アンケートを実施

令和6年 3月末 評価結果を基に学習のきまり項目加除修正のうえ決定

(3) 「特別の教科 道徳」

① 昨年度の教職員アンケートを参考に、重点項目を設定

小学校重点項目：B 感謝、B 親切・思いやり

B 相互理解・寛容

中学校重点項目：B 思いやり・感謝

B 相互理解・寛容

②重点項目における道徳の授業を実施

[令和6年度活動内容 進捗]

(1) 授業実践交流

①【参観日授業公開】（小学校）

・令和6年 7月16日（火） 低学年 7月18日（木） 高学年

・令和6年12月 3日（火） 低学年 12月 4日（水） 高学年

・令和7年 2月25日（火） 低学年 2月26日（水） 高学年

②【参観日授業公開】（中学校）

・令和6年 7月 3日（水） 全学年

・令和6年12月10日（火） 全学年

・12月の第3回小中一貫教育推進委員会までに、小中で統一したアンケートを作成する。授業実践交流の視点である「目指す子ども像を共有した教育活動」を啓蒙することも踏まえ、内容を精査することとする。

・授業参観については、研修部だけではなく、他の先生方にも周知していく。

・授業参観後、交流する時間を設定することが難しいのが課題である。各校でアンケートを集めて、年度末に「目指す子ども像」を振り返る時間を設けることとする。

③授業実践交流の視点

『目指す子ども像を共有した教育活動を目指して』

研修を視点に置いた目指す子ども像

自分の考えを話す子ども・友だちの話をよく聞く子ども
～双方向型で話し合う姿～

と位置づけ、すべての教職員が共通認識のもと教育活動を行う。「話す力」、「聞く力」については、御影小中学校の学習規律にも記載していることから、授業だけではなく、係活動、児童会（生徒会）を通して意識したい事項である。

(2) 学習規律

- ①今年度は「学習規律」の定着を図るため、児童生徒および教職員へのアンケートを実施
- ②さらに児童生徒への日々の声掛けや可視化しやすい様式へ変更
- ③どの授業でも定着を意識付けるため、各教室はもとより、特別教室や支援学級にも掲示

みんなで守ろう みかげのやくそく

御影地区

学習のきまり

- ①休み時間に次の学習用具を準備しよう。
- ②チャイムの前に着席しよう。
- ③授業の始まりと終わりのあいさつをきちんとしよう。
- ④名前をよばれたら、「はい」と返事をして、最後まではっきりと話しましょう。
- ⑤先生や友達の話をも、最後までしっかりと聞きましょう。

The image shows a classroom poster titled 'みんなで守ろう みかげのやくそく' (Let's all keep the rules of our hometown). It features a teacher character pointing to a blackboard with the text '御影地区 学習のきまり' (Mikage District Learning Rules). Below the blackboard, there are five numbered rules for classroom behavior. At the bottom, there are illustrations of two students sitting at desks, one writing and one reading.

(3) 「特別の教科 道徳」重点項目の設定

①昨年度のアンケートから重点項目を設定

小学校重点項目：B 感謝 B 親切・思いやり
B 相互理解・寛容

中学校重点項目：B 思いやり・感謝
B 相互理解・寛容

※ 教育課程「特別の教科 道徳」単元名を洗い出し、教職員が意識しやすいように可視化する。

- 学期初めに観点を確認するように周知をはかる。
- 小学校では各担任、中学校では道徳の授業を行った先生方を中心にアンケート（反省）を実施する。できれば、児童生徒のワークシートを収集し、児童生徒の変容も交流出来たら良い。

〔月別活動計画〕

月	取組の予定	月	取組の予定
4		10	
5	8日（御影中）第1回御影地区合同会議	11	
6		12	18日（御影中）第3回御影地区合同会議
7		1	
8		2	未定（御影小）第4回御影地区合同会議
9	4日（御影小）第2回御影地区合同会議	3	